

上島町公共施設あり方検討協議会における検討結果一覧

《統廃合等を進めるべき施設》

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等
住民交流文化系施設	三分団集会所	生名開発総合センターと利用形態が重複しており、施設規模、施設の現況から生名開発総合センターに機能を集約し、サテライトオフィス等の企業誘致等に活用。	・集約、統合するのは賛成である。 ・統廃合して、一つの施設の利用度を高くした方が良い。	機能を生名開発総合センターに集約し、廃止を検討。
	岩城コミュニティセンター	岩城地区のコミュニティ活動の場としての代替施設がなく、経常経費も必要最低限の保守管理費用のみであるため存続。	・他の施設と比較すると利用人数が非常に少ない。 ・岩城開発総合センターを利用すればコミュニティセンターがなくても会合等はできるのでないか。 ・2、3年様子を見て、利用者が少ないようであれば、岩城開発総合センターを利用する等検討してはどうか。 ・集会、健康増進等については、岩城保健センターもあり、他の施設で十分補えるのではないか。	岩城開発総合センター、岩城保健センター等への機能の集約等を再検討。
	弓削老人福祉センター	気軽に地域で利用できる施設として定着しており、一部、一般企業に貸与しているため存続。	・あと数年で耐用年数を迎えるが、大幅な改修を行うのか、建替えるのか等、検討する必要があるのではないか。 ・各施設において、サークル活動等で利用しているとあるが、集中させることで空く施設があるのではないか。町で精査する必要があるのではないか。	大規模改修等が必要となった際の建替え等について要検討。 他施設への機能集約についても再検討。
社会教育系施設	弓削中央公民館	令和4年度から利用を中止し、廃止又は取り壊しとする。 代替施設としては、せとうち交流館、生名開発総合センターの活用を検討。	・既存の公民館は、職員等も不在で公民館としての利用ができていない。 ・代替施設に集約するのであれば、職員等を常駐させ、施錠開錠が常にできる施設とすれば、利用も促進されるのではないか。 ・解体後の跡地には、弓削、岩城を統合したバス車庫を整備してはどうか。	弓削高校寮の建設場所に決定。
医療施設	高井神出張診療所	無人島化する可能性もあるため、診療に支障がない程度の最低限の修繕でしばらくは存続。	・現時点で診療所を解体して、代替施設へ移した方が良いのではないか。	
行政系施設	弓削総合支所	本町の行政施設は、住民一人当たりの延床面積が県内9町の中で最も広く、近隣の類似団体比較しても広い状況である。 今後、更なる人口減が見込まれており、維持管理費等の軽減を図るため、魚島総合支所を除く、3総合支所の集約化に向けた検討を行う。	・魚島総合支所を除く3総合支所について、集約化に向けた検討を行うことが妥当である。 ・集約化後の空きスペース等の活用についても検討すべき。	魚島総合支所を除く、3総合支所の集約及び集約後の空きスペース等の利活用を検討。
	生名総合支所			
	岩城総合支所			

施設用途分類	施設名称	担当課意見	協議会意見	検討事項等
消防施設	全般	地域の消防団と協議を行いながら集約化を図っており、地域の消防活動に必要な施設であるため存続。	・ある程度距離があっても車等で行って、消防車に乗り換えることができるので、集約は可能。	集約化を検討。
定住促進住宅	高井神第2住宅	新基準で建築されており、現在、入居者もいるため存続。	・1棟に集約して建替えることを検討してはどうか。	1棟への集約を検討。
	高井神第3住宅	新基準で建築されており、現在、入居者もいるため存続。		
その他建築系公共施設	やすらぎ苑	やすらぎ苑に機能を集約し、弓削斎場は閉鎖、天翔苑は使用を休止し、緊急用として存続。	・概ね担当課の方針が妥当との意見であるが、住民への説明会を開き、理解を得る必要がある。 ・増炉等の場合には、岩城橋の通行に影響が出ないように検討を行う必要がある。	集約化、やすらぎ苑の増炉の検討。
	天翔苑			
	弓削斎場			
	バス車庫	バス車両の維持管理に必要な施設のため存続とするが、随時必要最小限の修繕対応を行い、建替え時期の検討を行う。	・弓削と岩城のバス車庫を統合したバス車庫の整備も検討すべき。 ・立石港が主要港となるため、生名にバス車庫を整備して、生名を拠点としたバス編成を検討してはどうか。	弓削、岩城を統合したバス車庫の整備を検討。